

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-222274

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月17日

(51) Int. Cl. ⁵	識別記号	FI	
B 65 D 83/00		B 65 D 83/00	J
A 45 D 34/04	515	A 45 D 34/04	515A

審査請求 未請求 請求項の数22 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-323513

(22) 出願日 平成10年(1998)11月18日

(31) 優先権主張番号 9714307

(32) 優先日 1997年11月14日

(33) 優先権主張国 フランス (FR)

(71) 出願人 391023932

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ、リュ ロワイヤル 14

(72) 発明者 ジャンールイ・ゲレ

フランス75018パリ、リュ・エジェシップ

ーモロー15番

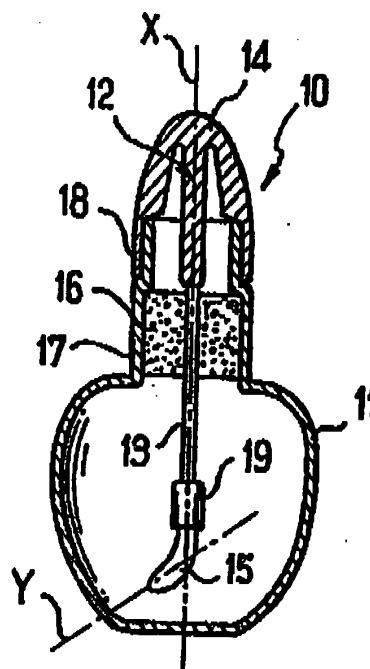
(74) 代理人 弁理士 青山 森 (外1名)

(54) 【発明の名称】 収納塗布器具

(57) 【要約】

【課題】 人間工学に適合した化粧品等の収納塗布器具を提供する。

【解決手段】 多孔質の弾性変形可能な材料から少なくとも一部が構成された払拭部材(16)を具有し、塗布部材(15)、把持部材(12)および連結部材(13)が非直線状に配列された化粧品等の収納塗布器具(10)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 液状、ペースト状もしくは粉状の製品、特に化粧品の収納塗布器具であって、一端が開口した該製品収納用容器、一方の端部に塗布部材を有して他方の端部に把持部材を有する塗布具、および該塗布部材と把持部材を連結する連結部材を具備する収納塗布器具において、該器具が多孔質の弾性変形可能な材料から少なくとも一部が構成された払拭部材をさらに具有し、該塗布部材、該把持部材および該連結部材が非直線状に配列されたことを特徴とする収納塗布器具。

【請求項2】 払拭部材が軸方向のスロットの入った発泡体ブロックによって構成され、該スロットの縁部が不使用時には突合される請求項1の器具。

【請求項3】 塗布具の自由端部を構成する塗布部材の軸方向の一方の端部によって連結された連結部材の延長線上に該塗布部材が延びた請求項1または2記載の器具。

【請求項4】 連結部材(33)が屈曲した請求項1から4いずれかに記載の器具。

【請求項5】 塗布部材(15:25:35)を固定するためのハウジング(19:28:38)を形成するために把持部材(12:22:32)の反対側の端部が肥大したロッド(13:23:33)によって連結部材が構成された請求項1から4いずれかに記載の器具。

【請求項6】 ハウジング(28)がその隣接領域内のロッド(23)の軸(X)に対してゼロでない角度(w)を成す軸(Y)に沿って延びた請求項5記載の器具。

【請求項7】 連結部材が少なくとも2つの分枝部材(41)を有する請求項1から4いずれかに記載の器具。

【請求項8】 塗布部材(15)が湾曲した請求項1から7いずれかに記載の器具。

【請求項9】 塗布部材(43)が、把持部材の隣接領域内における連結部材(41)の方向に対してゼロでない角度(γ)を成す請求項1から7いずれかに記載の器具。

【請求項10】 塗布部材がほぼ平坦な形態を有する請求項10記載の器具。

【請求項11】 塗布部材(52)が液状形態を有する請求項1から10いずれかに記載の器具。

【請求項12】 塗布部材(90)が硬質材料製もしくは半硬質材料製のコア(91)を有し、該コアが屈曲部を形成して連結部材(92)に連結された請求項1から11いずれかに記載の器具。

【請求項13】 塗布部材(115)がプラスチック材料、例えばエラストマーの射出成形によって少なくとも部分的に形成された請求項1から12いずれかに記載の器具。

【請求項14】 塗布部材(112)が毛を有する請求

(2)

特開平11-222274

2

項1から13いずれかに記載の器具。

【請求項15】 塗布部材(112)が非対称である請求項1から14いずれかに記載の器具。

【請求項16】 塗布部材(85)が少なくとも1つの螺旋状フィラメントを有する請求項1から15いずれかに記載の器具。

【請求項17】 塗布部材(71)が円弧状横断面を有する請求項1から16いずれかに記載の器具。

【請求項18】 塗布部材(118)が1または複数のスロットもしくは空洞(119)を有する請求項1から17いずれかに記載の器具。

【請求項19】 払拭部材が少なくとも5%の開放気泡を有する発泡体によって少なくとも部分的に構成された請求項1から18いずれかに記載の器具。

【請求項20】 発泡体がポリウレタン製もしくはポリエーテル製である請求項19記載の器具。

【請求項21】 塗布具が容器上の位置にあるときに払拭部材と接触して延びた領域内において、連結部材が塗布部材の横断面よりも小さな横断面を有する請求項1から20いずれかに記載の器具。

【請求項22】 連結部材が、塗布具が容器内の位置にあるときに払拭部材と接触して延びた領域内における直径が好ましくは0.2~2mm、特に0.2~0.5mmのロッドによって構成された請求項1から21いずれかに記載の器具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は液状、ペースト状(半流貯状)もしくは粉状の製品、特に化粧品の収納塗布器具に関する。より詳細には、この発明は一端が開口した該製品収納用容器、一方の端部に塗布部材を有すると共に他方の端部に把持部材を有して該容器を閉鎖するキャップとしても機能する塗布具を具備する該製品の収納塗布器具に関する。塗布部材と把持部材はロッドのような連結部材によって連結される。

【0002】

【従来の技術】国際出願WO97/31553号には、塗布部材、ロッドおよび把持部材が一列に配列され、塗布部材が容器内へ挿入された後、少なくとも5%の開放気泡を有する発泡体のような弾性変形可能な多孔質材料によって少なくとも一部が構成された払拭部材を通して抜去されるような容器が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】この発明は前記のタイプの新規な人間工学に適合した器具であって、特に化粧操作等の容易化と化粧品等の正確な塗布を可能にすると共に、新規な化粧品もしくはスキンケア製品等の塗布の可能性を高める器具を提供するためになされたものである。

【0004】即ちこの発明は、液状、ペースト状もしくは

は粉状の製品、特に化粧品の収納塗布器具であって、一端が開口した該製品収納用容器、一方の端部に塗布部材を有して他方の端部に把持部材を有する塗布具、および該塗布部材と把持部材を連結する連結部材を具備する収納塗布器具において、該器具が多孔質の弾性変形可能な材料から少なくとも一部が構成された私拭部材をさらに具有し、該塗布部材、該把持部材および該連結部材が非直線状に配列されたことを特徴とする収納塗布器具に関する。

【0005】

【発明の実施の形態】この発明による収納塗布器具の特徴は塗布部材、把持部材および連結部材を直線状に配設させないことである。即ち、少なくとも連結部材と塗布部材を湾曲させるか、または屈曲させ、塗布部材を把持部材の隣接領域内に延びた連結部の軸方向から外れるようにする。

【0006】本発明がなされた後、出願人は驚くべきことには次のことを確認した。即ち、塗布部材を私拭部材の軸に対して傾斜させても該塗布部材は私拭部材によって満足できるように私拭される（先験的にはこのような傾斜によっては満足できる私拭効果は得られないことが予想されていた）。

【0007】本発明によれば、特に、人間工学に適合した塗布具の製作、化粧操作等の容易化および化粧品等の出来るだけ正確な使用が可能となる。

【0008】特定の態様においては、連結部材は屈曲状である。また、特定の態様においては、連結部材は塗布部材を固定するハウジングを形成する肥大端部を把持部材の反対側に有するロッドによって構成される。該ハウジングはその隣接領域内の該ロッドの方向との間に0度以外の角度を成す方向に延びる。また、塗布部材の形態としては多数の形態が可能である。

【0009】特定の態様においては、塗布部材は湾曲状である。別の特定の態様においては、塗布部材はほぼ平らな形態を有し、把持部材の隣接領域内の連結部材の方向との間に角度を成す。さらに別の特定の態様においては、塗布部材は波状形態を有する。

【0010】別の特定の態様においては、塗布部材は硬質もしくは半硬質性材料から成るコアを有しており、該コアは屈曲部が形成されるように連結部材に連結される。また、特定の態様においては、塗布部材は少なくとも部分的にはプラスチック材料（例えば、エラストマー）から射出成形される。

【0011】特定の態様においては、塗布部材は毛を有する。特定の態様においては、塗布部材は非対称である。特定の態様においては、塗布部材は少なくとも螺旋状フィラメントを有する。別の特定の態様においては、塗布部材は一般的には湾曲した形態を有する。さらに別の特定の態様においては、塗布部材は1または複数のスロットもしくは空洞を有する。

【0012】本発明による収納塗布器具は特にアイ化粧品、マニキュア液もしくは類似品の塗布または口紅もしくは類似品の塗布に利用することができ、塗布部材の形態と特徴および私拭部材の多孔質材料の密度と高さは対象製品の性状、用途（使用目的）および所望の効果に応じて選択される。

【0013】塗布具が容器内に位置するとき私拭部材と接触する領域内の連結部材の横断面は塗布部材の横断面よりも小さくするのが好ましい。連結部材がロッドによって構成される態様においては、塗布具が容器内に位置するとき私拭部材に接触して延びた領域内における該ロッドの直径は好ましくは0.2~2mm、より好ましくは0.2~0.5mmである。

【0014】好ましい態様においては、私拭部材は軸方向にスロットの入った発泡体ブロックによって構成され、該スロットのエッジは不使用時には突合せた状態にある。発泡体ブロックがいくつかのスロットを有する場合には、該スロットは十字状もしくは星状（放射状）に配設してよい。従って、少なくとも1つのスロットを有して塗布具が所定の位置にあるときには連結部材によって実質上変形されず、塗布具の抜去後は閉鎖する発泡体ブロックによって私拭は好ましくおこなわれる。

【0015】この種の私拭部材を用いることによって、塗布部材上の製品の均質分布に関して非常に優れた結果が得られる。好ましくは、塗布部材は連結部材の延長線上に延び、その軸上の一方の端部は連結部材に連結され、他方の端部は塗布具の自由端部を構成する。

【0016】本発明のその他の特徴と利点は、本発明を限定するものではない実施態様についての以下の詳細な説明および添付図によって明らかにする。

【0017】図1~図4は本発明の4種の実施態様による収納塗布器具の軸方向に沿った模式的断面図である。図5および図6は本発明の第5の実施態様による収納塗布器具を構成する容器と塗布具を別々に示す模式的斜視図である。図7~図15は塗布部材の種々の変形態様を示す模式的斜視図である。図16~図18は本発明による塗布具を用いてアイ化粧品、マニキュアおよび口紅を塗布する様子をそれぞれ示す。

【0018】図1に示す収納塗布器具（10）は一方の端部が開口した容器（11）および塗布具（12）を具有する。塗布具（12）は軸（X）に沿って直線状のロッド（13）を有しており、該ロッドは一方の端部に把持部材（14）を備えていて、該把持部材は容器（11）を閉鎖するためのキャップを構成する。ロッド（13）は他方の端部に塗布部材（15）を具有する。

【0019】容器（11）は発泡体ブロック（16）によって構成される私拭部材を収納する頸部（17）を有する。私拭部材（16）は、例えば、接着剤を用いてその半径方向の外部表面を介して頸部（17）内に固定される。把持部（14）は容器（11）の頸部（17）の

外部のねじ山にねじ留めするために内部にねじ山が配設されたアセンブリースカート(18)を有する。

【0020】前記の発泡体ブロック(16)には、塗布部材(15)を使用するために容器(11)から抜去するときに、該塗布部材を通過させるためのスロットが図1の軸方向に沿って形成される。

【0021】私拭部材の種々の実施態様が記載されている国際出願W097/31553号明細書の記載内容を有効に利用できる。好ましくは、私拭部材を損なう永続的変形が生ずる危険を回避するために、塗布具(12)の10 ロッド(13)が容器の内部に位置するとき私拭部材(16)の発泡体が過度に圧縮されないように留意すべきである。

【0022】発泡体ブロック(16)はロッド(13)との接触部分の直系と等しいか、または該直径よりも幾分小さな直径を有する軸方向の空洞を有していてもよく、あるいはこの変形態様として、該ブロックに軸方向のスロットを形成させてもよい。ロッド(13)の最も小さな直径を有する部分は金属製であってもよく、該直径は、例えば、0.2~0.5mmである。

【0023】さらに、発泡体ブロック(16)は容器(11)の頸部内へ差し込み固定されるので、該ブロックは垂直方向に沿って強化され、塗布部材(15)の通過時の軸方向の圧縮は防止される。

【0024】ロッド(13)の下部端は肥大して軸(X)上に塗布部材(15)を固定するためのハウジング(19)を軸(X)上に形成し、該塗布部材は該ハウジング内に部分的に収容される。塗布部材(15)は利用に供する化粧品の種類に適合した構造にすることができ、図示する態様の場合、塗布部材(15)は湾曲してあり、また、その自由端に接近するにつれて軸(X)に対して徐々に増大する角度を成す方向に沿って延びる。該自由端の近傍においては、塗布部材は軸(X)に対して、例えば、80度の角度を成す方向(Y)に沿って延びる。

【0025】容器(11)は化粧品、好ましくは液状化粧品で満たされる(該化粧品は図を見やすくするために省略してある)。驚くべきことには、塗布部材(15)を、化粧品の品質を損なう少量の余剰化粧金を残存させることなく、発泡体ブロック(16)内の通過時に均一な操作で私拭することが出来る。このような結果は、発泡体ブロック(16)の多孔性と変形性に起因して得られるもので、該ブロックには塗布部材の一部に存在する余剰化粧品が含まれると共に、化粧品の含有量が不十分な塗布部材の別の部分に存在する化粧品が毛管作用によって沈積する。

【0026】発泡体ブロック(16)は塗布具(12)を使用に供するために容器(11)から抜去するときまたは該塗布具を元の位置に戻すときにロッド(13)を私拭するのに適合している。ロッド(13)のこのよう

な私拭は、これによってロッド上での乾燥による固体状残渣の形成が回避されるので特に有利である。

【0027】私拭部材としては開放気泡を有する発泡体、例えば、ポリウレタン製またはポリエーテル製発泡体を利用できる。この種の発泡体は少なくとも5%の開放気泡を有するのが好ましく、該気泡の直径は好ましくは5 μ m~3mmである。発泡体ブロックの高さは、例えば、1.5~80mmである。

【0028】発泡体の密度と発泡体ブロックの高さに応じて、私拭部材は、塗布部材が発泡体ブロックを貫通するときに該塗布部材の外形と密着適合する。塗布部材への化粧品の沈着に関する試験を行ったところ、ある場合には塗布部材の外形に化粧品の皮膜が付着したが、別の場合には塗布部材の隆起が表面張力による化粧品の皮膜によって被われた。

【0029】一般的には、塗布部材が柔軟なほど発泡体ブロックを貫通するときに該塗布部材は変形しやすく、また、私拭後に該塗布部材上に残存する化粧品の量はより少なくなる。特に、塗布部材がブラシの場合には、ブラシの毛が柔軟なほど私拭部材を貫通するときに該塗布部材は伏せてブラシの軸に接近しやすくなり、また、塗布具を容器から完全に抜去するときにブラシ上に付着する化粧品の量はより少なくなる。

【0030】不使用時のブラシの毛は任意の方向、例えば、把持部材の軸に対して垂直方向に延びていてもよい。さに、次のことに留意すべきである。即ち、もし容器内に収容される製品が水を溶剤とする液状化粧品(例えば、アクリル樹脂またはポリウレタン樹脂の水性組成物)の場合、発泡体ブロックは容器内の該化粧品を使い尽くすまで該化粧品に含まれる軟樹脂の発泡体内での架橋を防止するために十分な湿気を保持することができ、これによって該ブロック内を通過するロッドと塗布部材を湿らすことができる。

【0031】私拭部材を構成する発泡体ブロックは次の作用を同時に示す：

(1) 塗布部材の締め付けと係留により余剰化粧品および液状もしくはペースト状化粧品の乾燥によって生ずることのある固体状残渣が削り取られることによる該塗布部材の機械的な私拭と清浄化作用、(2) 毛管現象による吸収作用、(3) 塗布部材の通過による局部的圧縮後に元の形態に復帰するときの吸収による吸収作用、および(4) 塗布部材への化粧品の付着量が私拭部材により少ないときに行われることのある塗布部材への化粧品の含浸作用。

【0032】容器(11)は、塗布具(12)が該容器(11)の内部に位置したときに塗布部材(15)が容器の内壁に接触しないほど十分な大きさを有する。また、容器(11)の開口部は、該容器(11)への塗布部材(15)の出入を可能にするのに十分な大きさを有する。塗布具(12)を抜去するには、把持部材(1

4) のねじを戻した後、該部材を軸(X)に対して平行な状態で上方へ移動させる。

【0033】塗布部材(15)はユーザーがロッド(13)を傾けることなく発泡体ブロック(16)を通過できる形態を有する。塗布部材(15)はそれ自体が弾性変形するときには発泡体ブロック(16)内を一層容易に通過する。塗布部材(15)は、該塗布部材(15)が発泡体ブロック(16)内を通過するときにユーザーがロッド(13)を自然に傾けるような形態を有していてもよい。

【0034】塗布具を元の位置に戻すためには、塗布部材(15)を容器の開口部内へ導入し、該塗布部材(15)を発泡体ブロック(16)内へ押し込む。好ましくは、発泡体ブロック(16)はユーザーが特別な注意するからしくは塗布部材(15)を所定方向へ向けることなく該部材を元の位置に戻すの十分な柔軟性を有する。

【0035】以下の説明においては払拭部材は類似の形態を有しており、図2〜図4においては(16)で示し、これについてはさらに詳述しないので先の説明を参照されたい。図2に示す収納塗布器具(20)は把持部材と容器(21)の上部に関しては前述の収納塗布器具(10)と類似する。塗布具(22)は軸(X)に関して直線状のロッド(23)を有しており、該ロッドの下部端には、塗布部材(25)を固定するための肥大した傾斜ハウジング(28)が形成される。ハウジング(28)は軸(Y)に沿って延び、軸(Y)とロッド(23)の軸(Y)は角度(w)を成し、該角度は好ましくは10〜60度であり、図2の場合は約45度である。

【0036】塗布部材(25)は不使用時は軸(Y)に関してほぼ直線状であるが、図示していない変形形態の場合には屈曲していてもよい。図2に示す態様の場合、塗布部材を出入させるためにはロッド(23)を幾分傾けなければならないことに留意すべきである。これは塗布部材が容器の頸部の内径より長いからである。

【0037】容器のキャップ(閉鎖部材)は別の態様では容器頸部の上方に把持部材がねじ止めされるようにしてもよい。例えば、図3に示す収納塗布器具(30)の場合、把持部材は容器の頸部の上方に嵌合保持される。塗布具(32)は屈曲状のロッド(33)を有し、該ロッドは2つの直線状部分から成り、両者は角度(v)を成し、該角度は好ましくは10〜60度であり、図に示す例では約30度である。ロッド(33)の屈曲部(36)は塗布具(32)が所定の位置にあるときには、発泡体ブロック(16)のすぐ下に位置する。

【0038】塗布部材(35)はロッド(33)の下方の直線状部の延長線上に位置する。この例の場合、塗布部材(35)はロッド(33)の下部端に位置する拡大部(38)の直径よりも約2倍大きい最大横幅を有し、該拡大部は塗布部材(35)を固定するためのハウジ

グを形成する。

【0039】図4に示す態様においては、把持部材(44)と塗布部材(43)の間の連結部材は2本の相互に平行な直線状分枝体(41)を有し、該分枝体の下部端には塗布部材(43)を固定するハウジング(42)が連結される。塗布部材(43)はほぼ平行に配置された複数の同心環から構成され、これらの面は分枝体(41)の面との間で2面角(r)を形成し、該角度は好ましくは100〜170度である。

10 【0040】分枝体(41)の面は図4の切断面および塗布部材(43)を通過させるための発泡体ブロック(16)内のスロット面と平行である。この場合、塗布具が所定の位置にあるときに分枝体(41)の面を発泡体ブロック(16)のスロット面と一致させるために、容器の頸部と把持部材(44)に関し、該頸部に対して該把持部材が角を成して位置するように割出しする手段を用いるのが有利である。分枝体(41)の直径は発泡体の変形が非常に小さくなるように出来るだけ小さくする。

20 【0041】図5および図6に示す収納塗布器具(50)においては、塗布部材(52)は大きな幅と波状形態を有する。容器および塗布具(51)はそれぞれ別々に図5および図6に示す。払拭部材は塗布部材(52)を通過させるのに十分長いスロットの入ったほぼ平行六面体の形態を有する発泡体から構成する。塗布部材(52)と把持部材(54)を連結する連結部材(53)は平坦壁か構成され、該平坦壁はその下部端で肥大しており、該肥大部は塗布部材(52)を固定するための溝を有する。

30 【0042】把持部材(54)は連結部材(53)を包囲するスカートを用意しており、該スカートは塗布具(51)の払拭と所定位置での保持を可能にするように閉鎖するために容器上にはめ込むのに適合した形態を有する。塗布部材(52)は波状形態を有しているにもかかわらず、発泡体の変形態に起因して適確に払拭される。発泡体は塗布部材の凹部と接触するのに十分な柔軟性を有する。図示する態様の場合、塗布部材(52)は連結部材(53)の平坦壁に対して約45度の角度を成して延びる。

40 【0043】一般的には、払拭のために発泡体ブロックを利用することにより、塗布部材の形態は多種多様に变化させることが出来る。例えば、図7に示す塗布部材(71)は軸(Z)の周りに湾曲した形態を有しており、該軸は連結部材(74)の軸との間に角度(u)を成す。角度(u)は好ましくは10〜60度である。塗布部材(71)は軸(Z)に垂直な断面方向において一般に円弧状の横断面を有する。塗布部材(71)の側縁部(72)は連結部材(74)からわずかに離れており、また、連結部材(74)からより離れた縁部(73)は、図示する場合には、内側に幾分くぼんだ形態を有

する。塗布部材(71)は、例えば、爪の表面への化粧品
の塗布に適している。

【0044】図8に示す塗布部材(80)は側部に切り
込み部(81)を備えた非対称形態を有する。塗布部材
(80)は、例えば、多孔性材料製であってもよい。拭
拭部材の発泡体が拭拭中に切り込み部の底部まで達しな
いような十分な透気性を有するよう該発泡体を選択する
ことにより、拭拭後に切り込み部の底部に化粧品を残留
させることができる。従って、切り込み部(81)は容
器から拭拭後の塗布具の連続使用能を延長させる化粧品
貯留部を構成する。塗布部材(80)は連結部材(8
2)の軸に対してゼロではない角度を成す方向へ延びる
(図8参照)。また、塗布部材(80)は図示するよう
な線条溝を有する。

【0045】図9に示す塗布部材(85)はロッド(8
8)の軸(X)に対して角度(t)を成す軸(Z)に沿
って延びる螺旋状フィラメントを有する。角度(t)
は、例えば、約30度である。

【0046】図10に示す塗布部材(90)は、屈曲部
(93)を介して接続された2つのアーム(91)およ
び(92)を保有する半硬質プラスチック製コア(9
1)を有する。アーム(92)は塗布具のロッド(9
5)の下部端に形成されたハウジングの内部でかみ合
う。別のアーム(91)は化粧品塗布用発泡体ブロック
(94)の剛性を高めると共に該ブロックを支持する。

【0047】図11に示す塗布部材100は軸(U)
に沿って延びた横断面がほぼ台形の回転楕円体状の形態
を有する。塗布部材の各々の表面は外側に幾分くぼんだ
窪みを有する。塗布部材(100)は先端部(10
1)を有する。塗布部材(100)は、例えば、硬質、
半硬質または弾性のプラスチック材料から射出成形によ
って製造してもよい。図示する態様の場合、塗布部材
(100)は、塗布具のロッド(103)の下部端に形
成されたハウジング(102)の内部に挟み込まれる。
該ハウジングはロッド(103)の軸(X)に対してゼ
ロではない角度を成す。図示しない変形態様において
は、塗布部材はロッドと一体成形させてもよい。

【0048】図12に示す塗布具(105)の場合のよ
うに、塗布部材はブラシによって構成されていてもよ
く、該ブラシは任意の形態のものであってもよいが、特
に、大小の直径部分を有するものであってもよい。この
種の塗布具(105)は螺旋状に捻じ合されて毛(10
7)を支持する金属製糸によって構成された金属製コア
(108)を有し、該ブラシの軸はロッド(108)の
軸(X)に対して、例えば、約30度の角度(s)を成
す。この場合、コア(106)は屈曲しており、ロッド
(108)の下部端の肥大部(109)の内部に形成され
たハウジングの内部に固定される(該ハウジングは軸
(X)上に位置する)。図示しない変形態様において
は、該ハウジングは傾斜し、ブラシのコアは完全に直線

状である。

【0049】図13に示す塗布部材(112)の表面は
フロック加工されている(即ち、細かい毛で覆われてい
る)。図13から明らかなように、塗布部材(112)
は塗布具のロッド(113)の軸(X)に関して非対称
である。この非対称形態に起因して塗布部材(112)
はロッド(113)とは同一線上に位置しない。

【0050】図14に示す曲線状の塗布部材(115)
は円のほぼ4分の1に対応する形態を有しており、その
断面は一般に円形状であって、その表面は基盤縞状であ
る。この塗布具の一般的な形態は前述の塗布具(15)
の形態に類似しており、該塗布具は、例えば、プラスチ
ック材料から射出成形して製造してもよい。

【0051】図15に示す塗布具(118)はプラスチ
ック材料の注型によって製造することができ、該塗布具
はスロットまたは空洞(119)を有する。このような
スロットまたは空洞(119)は拭拭後、表面張力によ
って塗布部材(118)の内部に存在する化粧品を貯留
するが、これは拭拭部材が該スロットまたは空洞の内部
を貫通し難いからである。

【0052】図16にはアイ化粧品を塗布するための前
記の塗布具(10)および(20)の使用態様を示す。
この種の偏心した塗布部材を用いることによって、ユー
ザーは目の化粧を一層容易にすることができる。

【0053】さらに、本発明による偏心塗布部材、例え
ば、前述の塗布部材(72)を用いることによって爪の
上に化粧品を人間工学的に非常に適合した状態で塗布す
ることができる(図17参照)。

【0054】さらにまた、非対称塗布部材(112)を用
いることによって、例えば、ユーザーはリップ化粧品を
一層容易に塗布することができる(図18参照)。

【0055】本発明による収納塗布器具は、例えば、毛
髪用製品にも適用できる。連結部材としてロッドを用い
る場合、把持部材は塗布具が元の位置に存在するとき
は容器の頸部に関して任意の方向に向けることができる
(但し、この場合には、容器頸部の軸の方向にかかわら
ず、該容器が塗布部材を収納するのに十分な大きさを有
することを条件とする)。

【0056】上記の種々の実施態様においては、連結部
材は相当な可撓性を有するのが好ましい。もちろん、本
発明は上記の実施態様に限定されるものではなく、特
に、本発明の固有の特徴と前述の各々の実施態様との組
合せを一部に含む種々の変形態様も本発明に包含され
る。

【0057】

【発明の効果】本発明による収納塗布器具は人間工学に
適合しているので、これを使用することによって、特に
化粧操作等の容易化と化粧品等の正確な塗布が可能にな
るだけでなく、新規な化粧品等の塗布の可能性を高める
ことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による収納塗布器具の第1の実施態様を示す模式的断面図である。

【図2】 本発明による収納塗布器具の第2の実施態様を示す模式的断面図である。

【図3】 本発明による収納塗布器具の第3の実施態様を示す模式的断面図である。

【図4】 本発明による収納塗布器具の第4の実施態様を示す模式的断面図である。

【図5】 本発明による収納塗布器具の第5の実施態様を構成する容器の模式的斜視図である。

【図6】 本発明による収納塗布器具の第5の実施態様を構成する塗布具の模式的斜視図である。

【図7】 円弧状横断面を有する塗布部材の模式的斜視図である。

【図8】 切り込み部を有する非対称塗布部材の模式的斜視図である。

【図9】 螺旋状フィラメントを有する塗布部材の模式的斜視図である。

【図10】 2つのアームを保有する半硬質プラスチック製コアを有する塗布部材の模式的斜視図である。

【図11】 回転楕円体状の塗布部材の模式的斜視図である。

*【図12】 ブラシを有する塗布部材の模式的斜視図である。

【図13】 フロック加工表面を有する非対称塗布部材の模式的斜視図である。

【図14】 基盤溝状表面を有する曲線状塗布部材の模式的斜視図である。

【図15】 スロットまたは空洞を有する塗布部材の模式的斜視図である。

【図16】 本発明によるアイ化化粧品塗布具の使用態様を示す模式図である。

【図17】 本発明によるマキユア塗布具の使用態様を示す模式図である。

【図18】 本発明によるリップ化粧品塗布具の使用態様を示す模式図である。

【符号の説明】

11, 21, 31...容器

12, 22, 32, 44, 54...把持部材

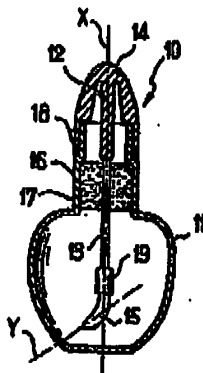
13, 23, 33, 36, 95, 103, 108, 113...ロッド

15, 25, 35, 43, 52, 71, 80, 85, 90, 100, 112, 115, 118...塗布部材

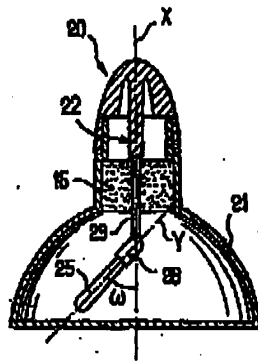
16, 94...発泡体ブロック

* 19, 28, 38...ハウジング

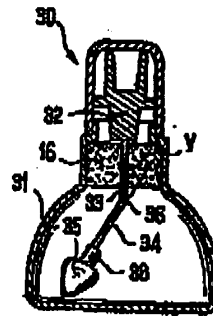
【図1】



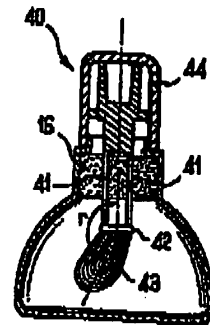
【図2】



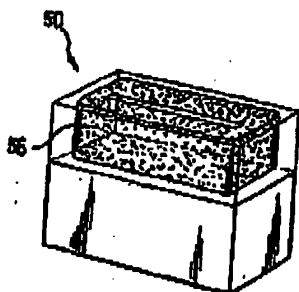
【図3】



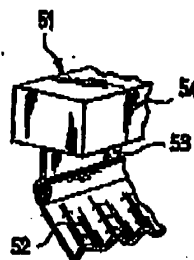
【図4】



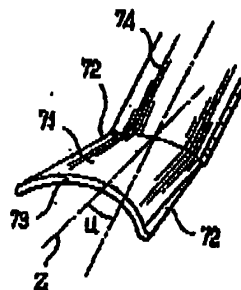
【図5】



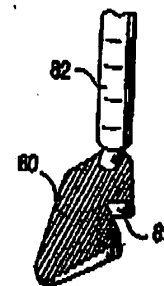
【図6】



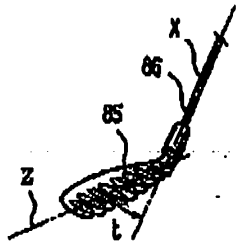
【図7】



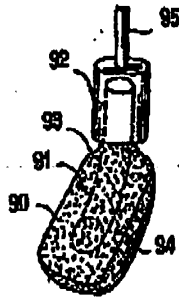
【図8】



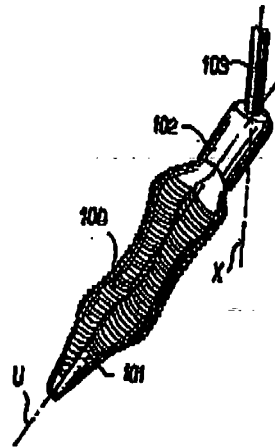
【図9】



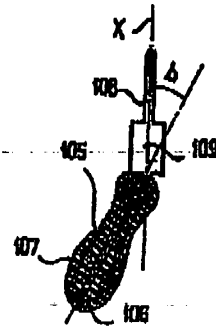
【図10】



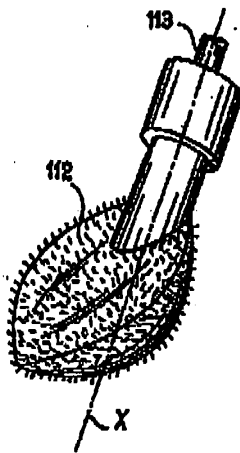
【図11】



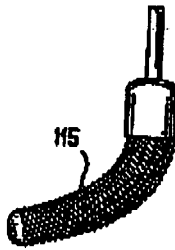
【図12】



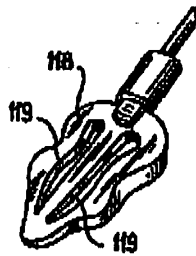
【図13】



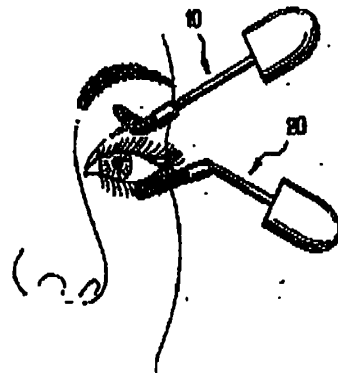
【図14】



【図15】



【図16】



【図17】



【図18】

